

事業評価調書（新規）

事務所名 (課名)	農林水産部 農林水産局農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 村上 主直 (地域整備係長 中野光雄)	内線	3931 (3946)
--------------	---------------------	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	中山間総合整備	事業名	事業区間	総事業費	8.9億円
		中山間地域総合整備事業	新宮地区	内用地補償費	0.1億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
揖保郡新宮町			H18	H18	H22
事業目的			事業内容		
中山間地域の果たしている食料供給機能や保養休養など多面的機能を保全し、定住を促進するため、農業生産基盤・生活環境基盤の整備を早急に進めるとともに、交流基盤整備を行い、地域住民の活性化への取り組みを支援する。 揖保郡新宮町：特定農山村指定 事業主体：新宮町			1. 農業生産基盤整備 (用排水路改修:L=2.1km、農道舗装:L=3.1km、ほ場整備:A=15.5ha) [国:55% 県13% 町16% 地元16%] 2. 生活環境基盤 (施設間連絡道路:L=0.5km) [国:55% 県7% 町19% 地元19%] 3. 交流基盤 (交流施設基盤整備(A=1.0ha)、防火水槽 1箇所) [国:55% 県2% 町21.5%・地元21.5%]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	新宮町では、揖保川の清流と農村の豊かな自然、美しい景観、交流資源などを活用し、食と農を楽しむ基盤整備を進めるとともに、自然環境と調和した農村環境の形成、都市との交流を通じた地域コミュニティの再生を推進している。一方、山間農地は区画が狭小、不整形なため生産性が低く、過疎化に伴い耕作放棄地が増加していることから、生産基盤の整備を進める必要がある。また、町東部では、地域農業の活性化に向け、未舗装農道の整備、老朽化した用排水路の整備、都市との交流の場として交流施設、集落道の整備を行っていく必要がある。				
(2)有効性・効率性	事業の実施により、主に下記の効果が期待できる。 ほ場整備による営農経費節減による農業経営の向上 用排水路改修による維持管理費用の節減 農道舗装による農産物の荷痛み防止、維持管理費の節減 交流施設、集落道路の整備により、都市農村交流による地域の活性化及び集落防災の強化 ○費用便益比 B / C = 1 . 2 1				
(3)環境適合性	水生生物の生態系に配慮した水路の整備や親水性や環境学習を行うためのピオト - プ池を整備する。また、交流施設の外構水路及び防火水槽の設置にあたり、現地発生材の玉石を利用するなど生態系に配慮する。				
(4)優先性	現在進められている、都市との交流及び地域間交流をさらに促進するため、交流施設の整備を早急に行い、地域の活性化を図っていく。 また、地域農業の活性化や快適な生活環境の確保から、ほ場整備、集落道路の整備を緊急に実施する必要があるとともに、維持管理が困難となった老朽化水路の早期改修など、総合的整備が急がれる。				